学校長あいさつ

本校は，沖縄県本島北部最初の養護学校として北部12市町村に居住する知的に障害のある児童生徒を対象に，昭和51年4月20日，小学部64名，中学部19名，職員33名で開校しました。同年7月に寄宿舎が開舎し，昭和54年に高等部，さらに翌年度には幼稚部が設置され，幼・小・中・高の一貫した教育を行う学校として整備されました。

平成16年度に現在の新校舎が完成し，平成31年度には，高等部普通科に「産業コース」が新設，本島北部地域における特別支援学校としての基幹を担い，令和8年は創立50周年を迎えます。

本校の教育活動の合い言葉は『 なかよく　げんきに　ほがらかに 』です。

開校から49周年を迎える令和7年5月現在，小学部43名，中学部37名，高等部61名，計141名の児童生徒が在籍し，小・中・高等部段階で必要な教育課程を編成し，各教科等の目標や幼児児童生徒一人ひとりに応じた個別の教育支援計画並びに個別の指導計画を作成し，学校教育を進めています。

令和7年度も，家族や地域の皆様に愛情深く育まれている幼児児童生徒が，一歩一歩自分らしさを発揮できる自立した社会人になるために，好きなことの探求や自分の夢や可能性を信じて，粘り強く何事にも取り組む力や夢実現のために必要な多様な力をつけていくために，小中高等部職員，養護教諭，栄養職員，事務現業部職員，寄宿舎職員，スクールバス介助員及び乗務員，給食厨房職員など，多くのスタッフがきめ細かな指導支援・学校教育環境整備を行っていきます。より良く人との関係が築ける（なかよく）・心身ともに健康な体をつくる（げんきに）・常に気持ちを穏やかにし情緒の安定が保てる（ほがらかに）を合い言葉に，教職員はもちろんのこと，保護者や地域の方々ともその思いを共有し，「子どもたちが社会のまん中」で自分らしくいきいきと生きていけるよう力を合わせていければ幸いです。

これまで本校の教育活動に関わってただいた方々の思いを受け継ぎ，地域と共に歩みを進める名護特別支援学校の教育活動に取り組んで参ります。

保護者，地域，関係機関の皆さまにおかれましては，今後ともご指導・ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

また，本校は，特別支援教育に係る地域のセンター校としての役割も担っております。

就学前のお子さんや児童生徒の支援・指導についての相談，学校見学等にも随時対応していますので，事前連絡の上，お気軽にご相談ください。

令和7年5月

沖縄県立名護特別支援学校

校 長　　下地　直子